

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日 水曜日13:00～14:00
 例会場 ANAクラウンプラザ
 グランコートホテル名古屋
 承認 2013年6月18日

会長 菊地 富士子
 幹事 荒山 久美
 公共イメージ
 向上 藤谷 猛



2024～2025年度名古屋アイリスRCのテーマ

不易流行

～ DEIを取り入れて新しい風を私たちのクラブへ ～

●お問い合わせ: office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト: http://www.nagoya-iris-rc.jp

第511回 例会

2025年2月12日 13:00～

- 司 会 島村恵三 例会・出席・親睦委員
- 斉 唱 我らの生業
- 出席報告 出席者数 10名 / 20名
出席率 50.0 %
- ゲ ス ト ニラム・ラウト君
- ビジター

ニコボックス

- 荒山久美 幹事
2月19日が結婚記念日です。
36年になりました。
- 青木恭子 副会長
今日はラウト君のお顔を見ることができました。
皆様も寒さの折、ご自愛下さいね。

会長挨拶



皆さんこんにちは 511回例会です。今年の立春は2月3日です。二十四節気1つで冬が終わり暦の上では春の始まりであり一年の始まりとされています。立春とはいえ寒さが続いております。今日も最高気温は8度でしてコートは欠かせません。まだインフルエンザも流行っていますので気を付けましょう。立春の前日は節分。季節を分けることも意味しています。子供のころ各部屋を「鬼は外 福は内」と声を出して福豆を撒きました。あとで部屋の隅々まで散らばった豆を這いつくばって拾いました。節分の翌日にマンションの通路に豆がいくつかありました。お子様がいらっしゃるお宅で邪気を払われたのだなと思いつながら仕事に向かいました。

昨日 建国記念の日。昔は紀元節。初代天皇とされる神武天皇の即位日を祝日でした。

子供のころ健在でした両祖母は紀元節と言っていました。1948年GHQの方針で廃止され、1966年日本の建国を祝う国民の祝日として、名称を「建国記念の日」に改めて復活しました。祝日に「の」を入れることで、建国を記念する日としました。天皇誕生日のように特定の出来事に結びつけない表現になっています。

幹事報告

【幹事報告(荒山久美 幹事)】

- ① 2月25日(火)16:00から東急ホテルでI.M.です。
- ② 3月の例会は3回で最初の例会が6RC 合同夜間例会で3/6(木)18:00からメルパルクにて開催されます。2回目は通常例会で3/12に開催、理事会もあります。3/21(金)が3回目の例会ですが、親睦夜間例会となっております。シェ・コーベさんで18:00からです。3月の例会は開催曜日と時間にご注意ください。
- ③ 次年度の地区協議会が4/20(日)にマリオットアソシアホテルで開催されます。詳細は後日お知らせします。

奨学金贈呈

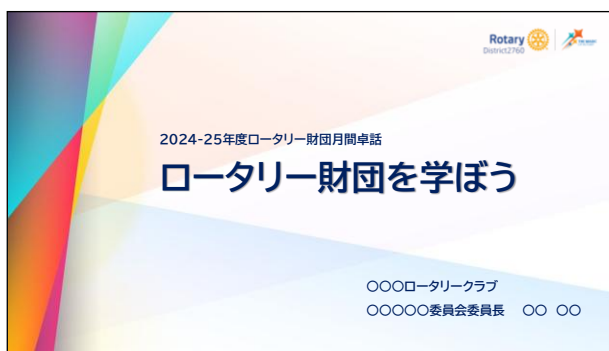


最後まで頑張ってください。

菊地富士子会長よりラウト・ニラム君に2月度の奨学金が贈呈されました。ラウト君の学生生活もあとわずかです。ラウト君は何度も手術を繰り返していますが、完治するようクラブのメンバー全員が応援しています。どうか健康に気を付けて最後まで頑張ってください。

卓 話

卓話者: 藤谷 猛 ロータリー財団委員長
 演 題: ロータリー財団を学ぼう (抜粋・要約)



こんにちは。ロータリー財団委員長の藤谷です。
 本日は、ロータリー財団月間に因み、「ロータリー財

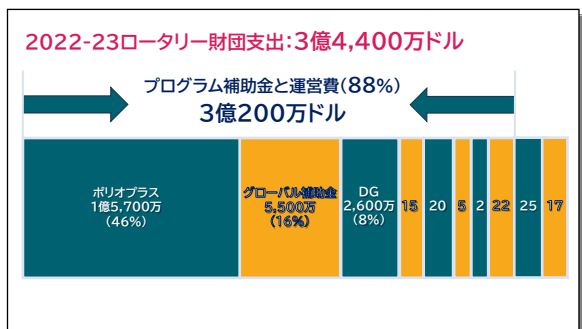
団を学ぼう」というタイトルで、国際ロータリーのロータリー財団についてお話をいたします。



1917年、アトランタで開催された第8回ロータリー年次大会で、当時の会長アーチ・克蘭フが「世界でよいことをするための」基金の設置を提案しました。その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの最初の寄付が、全世界で多くの人の人生を変える財団へと発展しました。



国際ロータリーは、わたしたちの会費で運営されていますが、ロータリー財団は、わたしたちからの寄付のみで、運営・活動がなされています。国際ロータリーとロータリー財団の資金の違いを説明すると、本年度の場合、国際ロータリーは、人頭分担金額が78.5ドルですので、世界の会員を113万人とすると、8,870万ドルの収入となります。一方、ロータリー財団は、寄付目標合計が5億ドルです。



まだ、昨年度の年次報告が公表されていないので、2022-23年度の実績です。収入としては、2022-23年度は、3億6,650万ドルの寄付が寄せられました。支出はこのグラフのとおりで、わたしたちの寄付が、「世界でよいことをするため」に、毎年このように各所で使用されています。ロータリー財団には、世界中の地域社会に奉仕してきた100年以上の歴史があります。支援を必要とする人びとのために、わたしたちからの寄付が欠か

せません。

2024-25年度 地区寄付目標		
年次基金	お一人あたり	150ドル以上
ポリオプラス	お一人あたり	30ドル以上
恒久基金	1クラブあたり	ベネファクター1名 または1,000ドル以上

こちらは昨年度の地区の寄付実績です。年次基金、ポリオプラス基金は目標達成ができました。

2023-24年度 地区寄付実績		
年次基金	お一人あたり	154.73ドル
ポリオプラス	お一人あたり	45.84ドル
恒久基金	1クラブ 1,000ドル以上	30クラブ

そしてこちらが本年度の地区目標です。年次基金お一人あたり150ドル以上、ポリオプラス基金お一人あたり30ドル以上、恒久基金は、新規ベネファクター1名またはクラブで1,000ドル以上が目標となっています。本年度も地区目標達成に向けてご協力よろしくお願いたします。

さて、恒久基金について少しお話をします。恒久基金



への寄付は、変化をもたらすロータリーのプログラムのために安定した資金を提供し、長期的にロータリーの活動を支える力となります。年次基金寄付と比較して説明をすると、例えば草花を育てるときに、『毎日与える水』が年次基金寄付としたらいざという時に活用するために『貯めておく水』が恒久基金寄付です。

恒久基金は投資され元金が支出されることなく、利用可能な収益の一部がロータリー財団のプログラムを支えるというものです。2013-14年度以降、投資収益率はおおよそ6%ほどとなっており、恒久基金への寄付は、継続的に資金を提供できるだけでなく、時の経過とともにさらに多くの資金を提供できるようになる可能性を秘めています。わたしたちもこの機会に恒久基金について理解し、引き続き支援を行っていきましょう。

寄付の認証

- ポール・ハリス・フェロー
- マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- ベネファクター
- メジャードナー
- アーチ・クランフ・ソサエティ

わたしたちが行った寄付に対して、さまざま認証の機会が設けられています。ポール・ハリス・フェローは、恒久基金以外の寄付額が1,000ドルに達した方に贈られる認証です。例えば、年次基金に150ドル、ポリオプラス基金に30ドルを毎年寄付すると、5年半で達成できます。その後、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1から8までの認証が、1,000ドルごとに累計9,000ドルまで贈られます。ベネファクターは、先ほどご説明した恒久基金への寄付が1,000ドルに達したとき、1回のみ贈られる認証です。メジャードナーは、寄付の分類にかかわらず累計額が10,000ドルに達した方に贈られる認証です。寄付の分類にかかわらず累計額が25万ドルに達した方は、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなります。

寄付の認証および地区目標



ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)

ポリオプラス・ソサエティ (PPS)

目標	PHS	新規で1名以上増加
	PPS	クラブ会員の5%以上

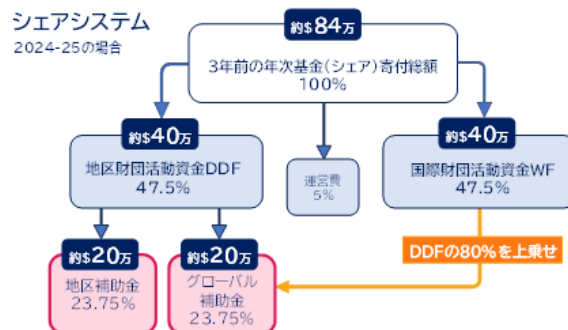
中でも、昨年来、当地区でも積極的に推進されているのが、ポール・ハリス・ソサエティとポリオプラス・ソサエティの入会です。

ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)は、年次基金やポリオプラス基金へ年間1,000ドル以上の寄付を約束された方に贈られる認証です。ポリオプラス・ソサエティ(PPS)は、ポリオプラス基金へ毎年100ドル以上の寄付を約束された方に贈られる認証です。本年度の地区目標は、PHSが新規1名以上増加、PPSがクラブ会員5%以上です。どちらかを2025年3月31日までに達成することが、本年度のガバナー特別賞の基準となっています。当クラブでも、ぜひ目標達成できるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

わたしたちが行った寄付は、すべてロータリー財団本部で管理されますが、この寄付金を、どのように奉仕活動に活かすのか、と言うと、シェアシステムというスキームによって、世界中で活用できるようになっています。財源は3年前の年次基金寄付と、恒久基金の運用益の一部です。

公平に透明性をもって有意義に活用するためシステ

ムです。寄付したお金が「戻ってくる」のではなく、「使う権利がある」と理解することが大切です。地区補助金は、1ロータリー年度につき1回、地区で一括して本部に申請を行います。当地区では、2022-23年度より、クラブの3年前の年次基金寄付額の、23.75%までが申請可能額となりました。



さらに、2023-24年度からはクラブの拠出金がなくても申請可能となっています。ポイントは、ロータリー財団の使命に沿っていて、クラブのメンバーが積極的に参加すること、です。

承認されれば、地区に一括して補助金が入金され、クラブに振り込まれます。そこから事業をスタートすることができるようになります。一方、グローバル補助金は、ロータリーの重点7分野に則した人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学生に使用することができ、いつでも申請が可能です。クラブ拠出金の8倍まで地区財団活動資金を申請することができますが、計画を立て始めたら、まず、補助金委員会に相談することが必須となっています。

以上で、本日の卓話を終了とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。